

平成 28年 7月 28日

二本松市議会議長 様

会 派 名 公 明 党

代表者名 小 林 均



視察研修報告書

当会派において、下記により視察研修を実施しましたので報告書を提出いたします。

記

1. 研 修 名 第43回『都市問題』公開講座～誰がためのコンパクトシティ
2. 研修日時 平成28年 7月23日(土)
13時30分～16時30分
3. 研修場所 千代田区 日本プレスセンター 10階ホール
4. 講 師 等 別紙のとおり
5. 参 加 者 ① 小 林 均 ②
③ ④
⑤ ⑥
⑦ ⑧
⑨ ⑩



視察研修結果報告書

1 視察の目的

現在、都市再生特別措置法改正によって導入された立地適正化計画の作成に本市でも取り組んでいるところであるが、その基本概念となる「コンパクトシティ」とは何なのかをあらためて問い直し、本当に暮らしやすいまちのあり方を考えるため、本公開講座に参加。

2 視察結果若しくは成果

2000年にコンパクトシティという言葉が登場してから、多くの自治体で様々な取り組みがなされて来た。しかし、その自治体(地方)が持つ問題点により、一律に政策を実現するのは難しいという現実に関首長、議員も気づき始めたところである。

今回の第43回『都市問題』公開講座では、「誰がためのコンパクトシティ」と題して東京大学大学院工学系研究科教授の浅見泰司の基調講演をお聞きし、その後、パネルディスカッションには、山形大学の貞包英之氏、神戸大学の砂原庸介氏、工学院大学の星卓志氏、新潟県上越市の村山英之市長など5人のパネリストから、それぞれのコンパクトシティの考え方と、現場の市町村での取り組みなどを伺うことが出来た。

コンパクトシティと言っても、郊外・郡部を非市街地化するのではなく今までにある郊外の有効利用と、コミュニティ・住民自治を強化していくなかで、現実に生活している人のための政策にしていかなければならないと強く感じたところである。

※ 添付資料（視察資料、写真、説明者の名刺（写）、行程表等）

報告者氏名 小林 均

第43回『都市問題』公開講座

誰がためのコンパクトシティ

(2016年7月23日(土) 13:30~16:30 於:日本プレスセンター10階ホール)

主催:(公財)後藤・安田記念東京都市研究所

プログラム

13:30 開会 主催者挨拶(後藤・安田記念東京都市研究所理事長 新藤宗幸)

13:35 基調講演 浅見 泰司氏(東京大学大学院工学系研究科教授)

14:20 休憩

14:30 パネルディスカッション

貞包 英之氏(山形大学基盤教育院准教授)

砂原 庸介氏(神戸大学大学院法学研究科准教授)

星 卓志氏(工学院大学建築学部教授)

村山 秀幸氏(新潟県上越市長)

饗庭 伸氏(首都大学東京大学院都市環境科学研究科准教授) <司会>

16:30 閉会

【配布資料一覧】

- プログラム(本資料)
- 出演者プロフィール資料
- 浅見泰司氏資料
- 村山秀幸氏資料
- 上越市パンフレット
- 貞包英之氏資料
- 砂原庸介氏資料
- 星卓志氏資料
- アンケート用紙
- 『都市問題』2016年11月号予約注文のご案内
- 『都市問題』のご案内